

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**



日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 3月21日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-079744

出 願 人

Applicant(s):

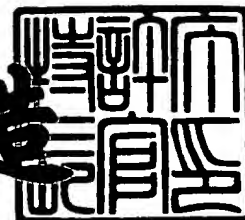
河原 純一

出  
(1)  
(2)  
(3)  
(4)  
(5)  
(6)  
(7)  
(8)  
(9)  
(10)  
(11)  
(12)  
(13)  
(14)  
(15)  
(16)  
(17)  
(18)  
(19)  
(20)  
(21)  
(22)  
(23)  
(24)  
(25)  
(26)  
(27)  
(28)  
(29)  
(30)  
(31)  
(32)  
(33)  
(34)  
(35)  
(36)  
(37)  
(38)  
(39)  
(40)  
(41)  
(42)  
(43)  
(44)  
(45)  
(46)  
(47)  
(48)  
(49)  
(50)  
(51)  
(52)  
(53)  
(54)  
(55)  
(56)  
(57)  
(58)  
(59)  
(60)  
(61)  
(62)  
(63)  
(64)  
(65)  
(66)  
(67)  
(68)  
(69)  
(70)  
(71)  
(72)  
(73)  
(74)  
(75)  
(76)  
(77)  
(78)  
(79)  
(80)  
(81)  
(82)  
(83)  
(84)  
(85)  
(86)  
(87)  
(88)  
(89)  
(90)  
(91)  
(92)  
(93)  
(94)  
(95)  
(96)  
(97)  
(98)  
(99)  
(100)

2001年 6月29日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3061564

【書類名】 特許願

【整理番号】 KW001003

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60  
E04H 13/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿 8 丁目 1 5 番 3 号 松原ビル 8 0 4  
号

【氏名】 河原 純一

【特許出願人】

【識別番号】 100088890

【氏名又は名称】 河原 純一

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009690

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】明細書

【発明の名称】バーチャル墓参システムおよびバーチャル墓参サーバ

【特許請求の範囲】

【請求項1】バーチャル墓参を行う顧客が使用するインターネット端末である顧客端末と、

墓参代行業者が使用するインターネット端末である墓参代行業者端末と、

実在の墓石の墓石イメージおよび墓参のための各種作法アプレットを蓄積し、前記顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときに所望の墓石イメージおよび所望の各種作法アプレットをインターネットを介して前記顧客端末に送信し、前記顧客端末において各種作法アプレットの各種作法を実在の墓石に対して代行実施する旨が指定されている場合には墓参代行実施をインターネットを介して前記墓参代行業者端末に通知するバーチャル墓参サーバとを備えることを特徴とするバーチャル墓参システム。

【請求項2】前記バーチャル墓地サーバが、前記顧客端末でのバーチャル墓参の終了に同期して墓参代行実施を前記墓参代行業者端末に通知する請求項1記載のバーチャル墓参システム。

【請求項3】前記バーチャル墓地サーバが、定期的に墓参代行実施を前記墓参代行業者端末に通知する請求項1記載のバーチャル墓参システム。

【請求項4】前記各種作法が、墓掃除、焼香、御供え、読経および遺影のうちの少なくとも1つを含む請求項1、請求項2または請求項3記載のバーチャル墓参システム。

【請求項5】顧客の顧客名および墓石ID、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、

前記顧客端末から顧客名および墓石IDを含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、

前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法アイコン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、

前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて作法アイコンがクリックされたときに前記作法データベースを検索して該当する作法内容選択ページを前記顧客端末に送信する作法内容選択ページ送信手段と、

前記顧客端末に表示された作法内容選択ページにおいて作法内容が選択されたときに前記墓参ページに選択された作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する作法アップレットを前記顧客端末に送信する作法アップレット送信手段と、

前記作法アップレット送信手段による作法アップレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アップレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、

前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段とを含むことを特徴とするバーチャル墓地サーバ。

【請求項6】顧客の顧客名および墓石ID、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、

墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アップレットを格納する作法データベースと、

墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、

顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホ

ームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、  
前記顧客端末から顧客名および墓石 I D を含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、

前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法選択ボタン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、

前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて前記作法選択ボタンで各種作法の内容が選択されて開始要求が入力されたときに前記墓参ページに選択された各種作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する各種作法アプレットを前記顧客端末に一括送信する作法アプレット送信手段と、

前記作法アプレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アプレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、

前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段とを含むことを特徴とするバーチャル墓地サーバ。

【請求項 7】顧客の顧客名および墓石 I D、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、

顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、

前記顧客端末から顧客名および墓石 I D を含む入墓地要求があったときに前記顧

客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、

前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法アイコン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、

前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて作法アイコンがクリックされたときに前記作法データベースを検索して該当する作法内容選択ページを前記顧客端末に送信する作法内容選択ページ送信手段と、

前記顧客端末に表示された作法内容選択ページにおいて作法内容が選択されたときに前記墓参ページに選択された作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する作法アプレットを前記顧客端末に送信する作法アプレット送信手段と、

前記作法アプレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アプレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、

前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段と、

前記履歴データベースを参照してインターネットに接続された決済機関と課金の決済を行う決済手段と

を含むことを特徴とするバーチャル墓地サーバ。

【請求項 8】顧客の顧客名および墓石 I D、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、

墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、

墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、

顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、

前記顧客端末から顧客名および墓石IDを含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、

前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法選択ボタン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、

前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて前記作法選択ボタンで各種作法の内容が選択されて開始要求が入力されたときに前記墓参ページに選択された各種作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する各種作法アプレットを前記顧客端末に一括送信する作法アプレット送信手段と、

前記作法アプレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アプレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、

前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段と、

前記履歴データベースを参照してインターネットに接続された決済機関と課金の決済を行う決済手段と

を含むことを特徴とするバーチャル墓地サーバ。

【請求項9】前記墓参代行実施通知手段が、前記顧客端末でのバーチャル墓参の終了に同期して墓参代行実施を前記墓参代行業者端末に通知する請求項5、請求項6、請求項7または請求項8記載のバーチャル墓参サーバ。

【請求項10】前記墓参代行実施通知手段が、定期的に墓参代行実施を前記墓参代行業者端末に通知する請求項5、請求項6、請求項7または請求項8記載のバーチャル墓参サーバ。



【請求項 1 1】前記各種作法が、墓掃除、焼香、御供え、読経および遺影の少なくとも 1 つを含む請求項 5、請求項 6、請求項 7 または請求項 8 記載のバーチャル墓地サーバ。

【請求項 1 2】コンピュータを、顧客の顧客名および墓石 I D、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客端末から顧客名および墓石 I D を含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法アイコン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて作法アイコンがクリックされたときに前記作法データベースを検索して該当する作法内容選択ページを前記顧客端末に送信する作法内容選択ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された作法内容選択ページにおいて作法内容が選択されたときに前記墓参ページに選択された作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する作法アプレットを前記顧客端末に送信する作法アプレット送信手段と、前記作法アプレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アプレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 1 3】コンピュータを、顧客の顧客名および墓石 I D、ならびに墓にま

つられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客端末から顧客名および墓石IDを含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法選択ボタン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて前記作法選択ボタンで各種作法の内容が選択されて開始要求が入力されたときに前記墓参ページに選択された各種作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する各種作法アプレットを前記顧客端末に一括送信する作法アップレット送信手段と、前記作法アップレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アップレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段として機能させるためのプログラム。

【請求項14】コンピュータを、顧客の顧客名および墓石ID、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客

端末から顧客名および墓石 I D を含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法アイコン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて作法アイコンがクリックされたときに前記作法データベースを検索して該当する作法内容選択ページを前記顧客端末に送信する作法内容選択ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された作法内容選択ページにおいて作法内容が選択されたときに前記墓参ページに選択された作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する作法アプレットを前記顧客端末に送信する作法アプレット送信手段と、前記作法アプレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アプレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段と、前記履歴データベースを参照してインターネットに接続された決済機関と課金の決済を行う決済手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 1 5】コンピュータを、顧客の顧客名および墓石 I D、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客端末から顧客名および墓石 I D を含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベ

スを検索して該当する墓石イメージ、各種作法選択ボタン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて前記作法選択ボタンで各種作法の内容が選択されて開始要求が入力されたときに前記墓参ページに選択された各種作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する各種作法アプレットを前記顧客端末に一括送信する作法アプレット送信手段と、前記作法アプレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アプレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段と、前記履歴データベースを参照してインターネットに接続された決済機関と課金の決済を行う決済手段として機能させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はバーチャル墓参システムおよびバーチャル墓参サーバに関し、特にインターネットを利用したバーチャル墓参システムおよびバーチャル墓参サーバに関する。

【0002】

【従来の技術】

古来から祖先や故人をまつるために墓が建てられているが、遺族により定期的に行われる墓参の手間、労力等は少なくなかった。そこで、このような墓参の手間、労力等の一部を軽減するようにした墓参システムの一例が、特開平10-105615号公報に開示されている。この墓参システムは、故人データ、家系データ等の墓参時に必要となる各情報を記憶手段に記憶しておき、一定条件下で読み出して表示手段に表示できるようにしたものである。また、墓石のイメージ、故

人の音声、読経等のマルチメディアデータをも保存しておき、一定条件下で読み出して見るができるようにしたものである。

【0003】

しかし、この従来の墓参システムは、基本的には菩提寺、霊園等において保管されている紙記録情報等をコンピュータシステムに載せたにしか過ぎないものであり、墓参時に最も手間や労力を要する墓地への往復移動の問題を解決していなかった。特に、墓地が遺族の住居地から遠く離れた場所にある場合、墓地への往復の時間、移動費用等がかかり、遺族の墓参による負担がきわめて大きくなるという問題を解決することはできなかった。

【0004】

また、紙記録情報等をコンピュータシステムに載せることは墓地を管理する寺院、霊園等にとって事務の合理化にはなるものの、それだけではコンピュータシステムを導入することに対するインセンティブにはなりにくいという問題があった。

【0005】

そこで、本願出願人は、これらの問題を一挙に解決するために、「バーチャル墓参システム」についてすでに提案した（特願2000-221927、および特願2000-242645参照）。

【0006】

このバーチャル墓参システムは、墓石イメージを蓄積するバーチャル墓地サーバと、バーチャル墓地サーバにインターネットを介して接続された顧客端末とを備え、顧客端末からインターネットを介してバーチャル墓地サーバにアクセスすることにより、顧客端末に所望の墓石イメージを表示してバーチャルに墓参することができるようにしたものである。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上述したバーチャル墓参システムでは、顧客が顧客端末にてバーチャルに墓参を行うだけの場合と、バーチャルな墓参の後にさらに墓参の代行実施を墓参代行業者等に依頼する場合との切り分けを明示的に行うことができるようにな

っていなかったので、命日、盆、彼岸等の重要な日には墓参代行実施を選択し、それほど重要でない日にはバーチャル墓参を選択するというように、重要度に応じて墓参代行実施とバーチャル墓参とを使い分けることができないという課題があった。

【0008】

また、顧客が墓参代行業者等を指定できるようになっていなかったもので、顧客は自らが信頼する墓参代行業者等に墓参代行実施を依頼することができないという課題があった。

【0009】

さらに、バーチャル墓地サーバの管理者と墓参代行業者等とが密接な関係にあることが前提となっており、バーチャル墓地サーバの管理者が墓参代行業者等として広い範囲に点在する墓地に自らが赴いて墓参を代行実施する必要があるという課題があった。

【0010】

さらにまた、墓参代行業者等はバーチャル墓地サーバの履歴データベースを定期的に参照して墓参代行実施が記録されていれば墓参代行実施を行うようにしていたので、バーチャル墓参とその墓参代行実施との間に時間がかかり、墓参を迅速に代行実施することができないという課題があった。

【0011】

本発明の第1の目的は、上述の点に鑑み、顧客が墓参日の重要度に応じて墓参代行実施とバーチャル墓参とを使い分けることができるようにしたバーチャル墓参システムを提供することにある。

【0012】

また、本発明の第2の目的は、顧客が墓参代行実施業者等を事前に指定できるようにしたバーチャル墓参システムを提供することにある。

【0013】

さらに、本発明の第3の目的は、墓参代行実施通知手段を設け、墓参ページ上で墓参代行実施が選択されていた場合には墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知するようにしたバーチャル墓参システムを提供すること

にある。

【0014】

さらにまた、本発明の第4の目的は、上記バーチャル墓参システムを実現するバーチャル墓地サーバを提供することにある。

【0015】

【課題を解決するための手段】

本発明のバーチャル墓参システムは、バーチャル墓参を行う顧客が使用するインターネット端末である顧客端末と、墓参代行業者が使用するインターネット端末である墓参代行業者端末と、実在の墓石の墓石イメージおよび墓参ための各種作法アプレットを蓄積し、前記顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときに所望の墓石イメージおよび所望の各種作法アプレットをインターネットを介して前記顧客端末に送信し、前記顧客端末において各種作法アプレットの各種作法を実在の墓石に対して代行実施する旨が指定されている場合には墓参代行実施をインターネットを介して前記墓参代行業者端末に通知するバーチャル墓参サーバとを備えることを特徴とする。

【0016】

また、本発明のバーチャル墓参システムは、前記バーチャル墓地サーバが、前記顧客端末でのバーチャル墓参の終了に同期して墓参代行実施を前記墓参代行業者端末に通知することを特徴とする。

【0017】

さらに、本発明のバーチャル墓参システムは、前記バーチャル墓地サーバが、定期的に墓参代行実施を前記墓参代行業者端末に通知することを特徴とする。

【0018】

さらにまた、本発明のバーチャル墓参システムは、前記各種作法が、墓掃除、焼香、御供え、読経および遺影のうちの少なくとも1つを含むことを特徴とする。

【0019】

一方、本発明のバーチャル墓参サーバは、顧客の顧客名および墓石ID、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金

およびバーチャル料金，ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴，代行実施フラグ，および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客端末から顧客名および墓石 I D を含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ，各種作法アイコン，および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて作法アイコンがクリックされたときに前記作法データベースを検索して該当する作法内容選択ページを前記顧客端末に送信する作法内容選択ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された作法内容選択ページにおいて作法内容が選択されたときに前記墓参ページに選択された作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する作法アプレットを前記顧客端末に送信する作法アップレット送信手段と、前記作法アップレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アップレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段とを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 2 0 】

また、本発明のバーチャル墓地サーバは、顧客の顧客名および墓石 I D，ならびに墓にまつられている故人の写真，動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容，各内容の代行実施料金およびバーチャル料金，ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴，代行実施フラグ，および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバ



ーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客端末から顧客名および墓石 I D を含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法選択ボタン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて前記作法選択ボタンで各種作法の内容が選択されて開始要求が入力されたときに前記墓参ページに選択された各種作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する各種作法アプレットを前記顧客端末に一括送信する作法アプレット送信手段と、前記作法アプレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アプレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段とを含むことを特徴とする。

#### 【 0 0 2 1 】

さらに、本発明のバーチャル墓地サーバは、顧客の顧客名および墓石 I D、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客端末から顧客名および墓石 I D を含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法アイコン、および代行

実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて作法アイコンがクリックされたときに前記作法データベースを検索して該当する作法内容選択ページを前記顧客端末に送信する作法内容選択ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された作法内容選択ページにおいて作法内容が選択されたときに前記墓参ページに選択された作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する作法アプレットを前記顧客端末に送信する作法アプレット送信手段と、前記作法アプレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アプレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段と、前記履歴データベースを参照してインターネットに接続された決済機関と課金の決済を行う決済手段とを含むことを特徴とする。

#### 【 0 0 2 2 】

さらにまた、本発明のバーチャル墓地サーバは、顧客の顧客名および墓石ID、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客端末から顧客名および墓石IDを含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法選択ボタン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する

墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて前記作法選択ボタンで各種作法の内容が選択されて開始要求が入力されたときに前記墓参ページに選択された各種作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する各種作法アプレットを前記顧客端末に一括送信する作法アプレット送信手段と、前記作法アプレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アプレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段と、前記履歴データベースを参照してインターネットに接続された決済機関と課金の決済を行う決済手段とを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 2 3 】

また、本発明のバーチャル墓地サーバは、前記墓参代行実施通知手段が、前記顧客端末でのバーチャル墓参の終了に同期して墓参代行実施を前記墓参代行業者端末に通知することを特徴とする。

## 【 0 0 2 4 】

さらに、本発明のバーチャル墓参サーバは、前記墓参代行実施通知手段が、定期的に墓参代行実施を前記墓参代行業者端末に通知することを特徴とする。

## 【 0 0 2 5 】

さらにまた、本発明のバーチャル墓参サーバは、前記各種作法が、墓掃除、焼香、御供え、読経および遺影の少なくとも1つを含むことを特徴とする。

## 【 0 0 2 6 】

他方、本発明のプログラムは、コンピュータを、顧客の顧客名および墓石ID、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する

履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客端末から顧客名および墓石 I D を含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法アイコン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて作法アイコンがクリックされたときに前記作法データベースを検索して該当する作法内容選択ページを前記顧客端末に送信する作法内容選択ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された作法内容選択ページにおいて作法内容が選択されたときに前記墓参ページに選択された作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する作法アプレットを前記顧客端末に送信する作法アップレット送信手段と、前記作法アップレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アップレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段として機能させる。

## 【 0 0 2 7 】

また、本発明のプログラムは、コンピュータを、顧客の顧客名および墓石 I D、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客端末から顧客名および墓石 I D を含む入墓地要求があったときに

前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法選択ボタン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて前記作法選択ボタンで各種作法の内容が選択されて開始要求が入力されたときに前記墓参ページに選択された各種作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する各種作法アプレットを前記顧客端末に一括送信する作法アップレット送信手段と、前記作法アップレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アップレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段として機能させる。

【0028】

さらに、本発明のプログラムは、コンピュータを、顧客の顧客名および墓石ID、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客端末から顧客名および墓石IDを含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法アイコン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて作法アイ

コンがクリックされたときに前記作法データベースを検索して該当する作法内容選択ページを前記顧客端末に送信する作法内容選択ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された作法内容選択ページにおいて作法内容が選択されたときに前記墓参ページに選択された作法の内容を付加するように前記作法データベースを検索して該当する作法アプレットを前記顧客端末に送信する作法アップレット送信手段と、前記作法アップレット送信手段による作法アプレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アップレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段と、前記履歴データベースを参照してインターネットに接続された決済機関と課金の決済を行う決済手段として機能させる。

## 【0029】

さらにまた、本発明のプログラムは、コンピュータを、顧客の顧客名および墓石ID、ならびに墓にまつられている故人の写真、動画または音声を記録する故人ファイルを含む顧客データベースと、墓参の各種作法毎に作法の内容、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金、ならびに作法アプレットを格納する作法データベースと、墓参毎の各種作法の履歴、代行実施フラグ、および課金結果を格納する履歴データベースと、顧客端末からインターネットを介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを前記顧客端末に送信するホームページ送信手段と、前記顧客端末から顧客名および墓石IDを含む入墓地要求があったときに前記顧客データベースを検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段と、前記顧客確認手段で登録済みの顧客であると確認されたときに前記顧客データベースを検索して該当する墓石イメージ、各種作法選択ボタン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを前記顧客端末に送信する墓参ページ送信手段と、前記顧客端末に表示された墓参ページにおいて前記作法選択ボタンで各種作法の内容が選択されて開始要求が入力されたときに前記墓参ページに選択された各種作法の内容を付加するように前記作法データベー

スを検索して該当する各種作法アップレットを前記顧客端末に一括送信する作法アップレット送信手段と、前記作法アップレット送信手段による作法アップレットの送信時に前記作法データベースを参照して課金結果を含む履歴データを前記履歴データベースに記録するとともに、前記顧客端末での各種作法アップレットの実行時に前記代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき前記代行実施フラグを前記履歴データベースに設定する履歴データ記録手段と、前記代行実施フラグがオンであれば前記履歴データに基づく墓参代行実施をインターネットを介して墓参代行業者端末に通知する墓参代行実施通知手段と、前記履歴データベースを参照してインターネットに接続された決済機関と課金の決済を行う決済手段として機能させる。

【 0 0 3 0 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

【 0 0 3 1 】

(1) 第1の実施の形態

図1は、本発明の第1の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの全体構成を示すブロック図である。本実施の形態に係るバーチャル墓参システムは、バーチャル墓地サーバ1と、バーチャル墓地サーバ1にインターネット2を介して接続された1台以上の顧客端末3と、バーチャル墓地サーバ1に接続された顧客データベース4、作法データベース5および履歴データベース6と、バーチャル墓地サーバ1にインターネット2を介して接続された1台以上の墓参代行業者端末7から、その主要部が構成されている。

【 0 0 3 2 】

バーチャル墓地サーバ1は、寺院、霊園、墓参代行業者等がバーチャル墓地を管理するためのサーバコンピュータであり、インターネット2に接続されてさえいれば、その設置場所等は問わない。特に図示しなかったが、バーチャル墓地サーバ1に、ネットワークオペレーティングシステム、Webアプリケーションサーバプログラム、データベースマネジメントシステム等が搭載されていることはいうまでもない。

## 【0033】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3からインターネット2を介してアクセスがあったときにバーチャル墓地ホームページを顧客端末3に送信するホームページ送信手段10と、顧客端末3から顧客名および墓石IDを含む入墓地要求があったときに顧客データベース4を検索して登録済みの顧客であるかどうかを確認する顧客確認手段11と、顧客確認手段11で登録済みの顧客であると確認されたときに顧客データベース4を検索して該当する墓石イメージ、各種作法アイコン、および代行実施／バーチャル選択ボタンを含む墓参ページを顧客端末3に送信する墓参ページ送信手段12と、顧客端末3に表示された墓参ページにおいて作法アイコンがクリックされたときに作法データベース5を検索して該当する作法内容選択ページを顧客端末3に送信する作法内容選択ページ送信手段13と、顧客端末3に表示された作法内容選択ページにおいて作法内容が選択されたときに墓参ページに選択された作法の内容を付加するように作法データベース5を検索して該当する作法アップレットを顧客端末3に送信する作法アップレット送信手段14と、作法アップレット送信手段14による作法アップレットの送信時に作法データベース5を参照して課金結果を含む履歴データを履歴データベース6に記録するとともに、顧客端末3での各種作法アップレットの実行時に代行実施／バーチャル選択ボタンの選択に基づき代行実施フラグを履歴データベース6に設定する履歴データ記録手段15と、代行実施フラグがオンであれば履歴データに基づく墓参代行実施を電子メール（インスタントメッセージ等の他の通信文を含む。以下同様）によりインターネット2を介して墓参代行業者端末7に通知する墓参代行実施通知手段16とを含んで構成されている。

## 【0034】

顧客端末3は、ブラウザが搭載されインターネット2に接続された端末装置であればどのようなものでもよく、パーソナルコンピュータ、ゲーム機、情報家電、携帯情報端末、携帯電話機等の各種情報機器が含まれる。なお、ブラウザ以外の専用アプリケーションプログラムは特に必要としない。

## 【0035】

墓参代行業者端末7は、顧客端末3と同様に、ブラウザが搭載されインターネッ



ト2に接続された端末装置であればどのようなものでもよく、パーソナルコンピュータ、ゲーム機、情報家電、携帯情報端末、携帯電話機等の各種情報機器が含まれる。なお、ブラウザ以外の専用アプリケーションプログラムは特に必要としない。

【0036】

図2は、バーチャル墓地サーバ1にアクセスしたときに顧客端末3に表示されるバーチャル墓地ホームページの一例を表す画面図である。このバーチャル墓地ホームページには、顧客名を入力するフィールドと、墓石識別子（以下、墓石IDと略記する）を入力するフィールドと、「入る」アイコンと、「出る」アイコンとが設けられている。なお、入墓地料が課金されることが表示されている。

【0037】

図3は、顧客が図2に示すバーチャル墓地ホームページにおいて顧客名および墓石IDを入力してから「入る」アイコンをクリックしたときに顧客端末3に表示される墓参ページの一例を表す画面図である。この墓参ページには、墓石イメージと、墓掃除アイコンと、焼香アイコンと、御供えアイコンと、読経アイコンと、遺影アイコンと、墓参代行実施またはバーチャル墓参を選択するためのラジオボタン（以下、代行実施／バーチャル選択ボタンという）と、作法アプレットの実行開始を指示する開始アイコンと、墓参の終了を指示する終了アイコンとが設けられている。墓石イメージは、墓石の実写イメージばかりでなく、コンピュータグラフィックで作成されたイメージでもよく、さらにはビデオ映像等の動画であってもよい。また、3次元描画技術を使って、墓石を顧客の操作に応じて全方位方向に回転可能とするようにしてもよい。なお、墓掃除、焼香、御供え、読経、および遺影は、墓参の際に実施される供養行為を表しており、以下、作法と総称することにする。

【0038】

図4は、顧客が墓参ページにおいて墓掃除アイコンをクリックしたときに顧客端末3に表示される墓掃除内容選択ページの一例を表す画面図である。この墓掃除内容選択ページには、水掃除、茶掃除、酒掃除の各内容と、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金と、各内容の選択アイコンと、「戻る」アイコンとが設

けられている。なお、水掃除は水のみで掃除することを意味し、茶掃除はお茶の入った水で掃除することを意味し、酒掃除はお酒の入った水で掃除することを意味する。

#### 【0039】

図5は、顧客が墓参ページにおいて焼香アイコンをクリックしたときに顧客端末3に表示される焼香内容選択ページの一例を表す画面図である。この焼香内容選択ページには、線香、線香・蠟燭、線香・蠟燭・お香の各内容と、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金と、各内容の選択アイコンと、「戻る」アイコンとが設けられている。

#### 【0040】

図6は、顧客が墓参ページにおいて御供えアイコンをクリックしたときに顧客端末3に表示される御供え内容選択ページの一例を表す画面図である。この御供え内容選択ページには、お花、お花・果物、お花・果物・菓子の各内容と、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金と、各内容の選択アイコンと、「戻る」アイコンとが設けられている。

#### 【0041】

図7は、顧客が墓参ページにおいて読経アイコンをクリックしたときに顧客端末3に表示される読経内容選択ページの一例を表す画面図である。この読経内容選択ページには、読経、読経・法話、読経・法話・法楽の各内容と、各内容の代行実施料金およびバーチャル料金と、各内容の選択アイコンと、「戻る」アイコンとが設けられている。

#### 【0042】

図8は、顧客が墓参ページにおいて遺影アイコンをクリックしたときに顧客端末3に表示される遺影内容選択ページの一例を表す画面図である。この遺影内容選択ページには、墓にまつられている故人の名前と、各故人の写真、動画、音声、「他」の選択アイコンと、「戻る」アイコンとが設けられている。「他」の選択アイコンは、故人に関連して蓄積された「他」の情報を参照するためのものであり、「他」の情報としては、遺言、履歴書（自伝、功績、病歴）、遺伝子情報（DNA（Deoxyribonucleic Acid）情報、精子、卵子等

の貯託番号)等を参照することが可能である。

【0043】

図9は、顧客が墓参ページにおいて各種作法アイコンで各種作法を選択した後の墓参ページの一例を表す画面図である。図3に示した墓参ページに対して、柄杓、線香、蠟燭、御供え、および読経(僧侶の後姿)のイメージが付加され、さらに故人の遺影等を表示するウィンドウ(遺影ウィンドウ)が開かれている。なお、代行実施/バーチャル選択ボタンでは、代行実施が選択されている。

【0044】

図10を参照すると、顧客データベース4は、顧客名、墓石ID、住所、電子メールアドレス、墓石イメージ(またはそれを格納するファイルの名称、ポインタ等)、事前に指定された墓参代行業者のメールアドレス、故人ファイルへのポインタ等からなる顧客レコードを複数蓄積している。故人ファイルへのポインタは、それぞれ故人ファイル41を指示している。なお、顧客データベース4への顧客データの登録は、顧客からの事前の申し込みに基づいて、寺院、霊園、墓参代行業者等のみが行えるようになっている。これは、顧客端末3側からの不正アクセスによって顧客データベース4の顧客データが不当に書き換えられないようにするためである。また、バーチャル墓地への加入料、事務手数料の徴収を確実に行えるという利点もある。

【0045】

故人ファイル41には、図11に例示するように、墓にまつられている各故人の名前、写真、動画、音声、および「他」の情報が格納されている。なお、写真、動画、音声は、それ自体ではなく、その名前またはその実体へのポインタが格納されていてもよい。「他」の情報については、図8の説明で既述した。

【0046】

作法データベース5には、図12に例示するように、墓掃除ファイル51、焼香ファイル52、御供えファイル53、および読経ファイル54の各種作法ファイルが格納されている。

【0047】

図13を参照すると、墓掃除ファイル51は、墓掃除の各内容、各内容の代行実

施料金およびバーチャル料金，ならびに各内容を顧客端末 3 上で実行する小さなプログラム（以下、作法アプレットという）からなる複数のレコードを格納している。作法アプレットは、J a v a（サンマイクロシステムズ社の登録商標）等のハードウェア依存性のないオブジェクト指向言語で作成されることが望ましい。なお、作法アプレットは、それ自体ではなく、その名前またはその実体へのポインタが格納されていてもよい（以下同様）。

## 【 0 0 4 8 】

図 1 4 を参照すると、焼香ファイル 5 2 は、焼香の各内容，各内容の代行実施料金およびバーチャル料金，ならびに各内容の作法アプレットからなる複数のレコードを格納している。

## 【 0 0 4 9 】

図 1 5 を参照すると、御供えファイル 5 3 は、御供えの各内容，各内容の代行実施料金およびバーチャル料金，ならびに各内容の作法アプレットからなる複数のレコードを格納している。

## 【 0 0 5 0 】

図 1 6 を参照すると、読経ファイル 5 4 は、読経の各内容，各内容の代行実施料金およびバーチャル料金，ならびに各内容の作法アプレットからなる複数のレコードを格納している。

## 【 0 0 5 1 】

図 1 7 を参照すると、履歴データベース 6 には、顧客名，墓石 I D，年月日，代行実施フラグ，墓掃除，焼香，御供え，遺影，および課金合計の各フィールドからなる履歴レコードが蓄積される。なお、各種作法のフィールドは、作法アプレットを送信した作法内容に対応するビットがオンにされる。

## 【 0 0 5 2 】

図 1 8 を参照すると、バーチャル墓地サーバ 1 における処理は、アクセス判定ステップ S 1 0 1 と、バーチャル墓地ホームページ送信ステップ S 1 0 2 と、入墓地要求判定ステップ S 1 0 3 と、登録済顧客確認ステップ S 1 0 4 と、履歴レコード作成・記録ステップ S 1 0 5 と、墓参ページ作成・送信ステップ S 1 0 6 と、終了要求判定ステップ S 1 0 7 と、作法内容要求判定ステップ S 1 0 8 と、作

法内容選択ページ送信ステップS109と、選択要求判定ステップS110と、作法アプレット送信ステップS111と、履歴レコード更新ステップS112と、代行実施判定ステップS114と、墓参代行実施通知送信ステップS115と、バーチャル墓地ホームページ送信ステップS116と、出墓地要求判定ステップS117とからなる。

【0053】

次に、このように構成された第1の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの動作について説明する。

【0054】

バーチャル墓参システムを利用してバーチャルに墓参を行う場合、顧客は、顧客端末3からインターネット2を介してバーチャル墓地サーバ1にアクセスする。

【0055】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3からアクセスがあると（ステップS101）、ホームページ送信手段10により図2に示すバーチャル墓地ホームページをアクセス元の顧客端末3に送信する（ステップS102）。以下、特に断らない限り、顧客端末3とは、アクセス元の顧客端末3を指すこととする。

【0056】

顧客端末3に表示されたバーチャル墓地ホームページを見て、顧客が顧客名および墓石IDを入力して、「入る」アイコンをクリックすると、顧客名および墓石IDを含む入墓地要求がバーチャル墓地サーバ1に送信される。

【0057】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3から顧客名および墓石IDを含む入墓地要求が送信されてくると（ステップS103）、顧客確認手段11により、顧客名および墓石IDで顧客データベース4を検索してあらかじめ登録された顧客および墓石であるかどうかを確認する（ステップS104）。あらかじめ登録された顧客および墓石でなければ、バーチャル墓地サーバ1は、入墓地を拒否して処理を終了する。一方、あらかじめ登録された顧客および墓石であれば、バーチャル墓地サーバ1は、履歴レコードを作成し入墓地料を課金してから履歴データベース6に記録する（ステップS105）。なお、入墓地料を課金するのは、後述

する墓参ページをただで、墓参のための何らの作法も行わずに墓地を出る顧客に対してもそれなりの利用負担をしてもらうためである。

【0058】

次に、バーチャル墓地サーバ1は、墓石ページ送信手段12により、顧客データベース4から墓石イメージを取得し、図3に示す墓参ページを作成して顧客端末3に送信する（ステップS106）。

【0059】

顧客端末3に表示された墓参ページを見て、顧客が墓掃除アイコンをクリックすると、墓掃除の作法内容要求がバーチャル墓地サーバ1に通知される。

【0060】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3から墓掃除の作法内容要求が通知されてくると（ステップS108）、図4に示す墓掃除内容選択ページを顧客端末3に送信する（ステップS109）。

【0061】

顧客端末3に表示された墓掃除内容選択ページを見て、顧客が該当する選択アイコンをクリックすると、選択された墓掃除内容の選択要求がバーチャル墓地サーバ1に通知される。

【0062】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3から墓掃除内容の選択要求が通知されてくると（ステップS110）、図9中に示すような柄杓のイメージを墓石イメージ上に表示して墓掃除の一連の動作を模擬する作法アプレットを顧客端末3に送信し（ステップS111）、履歴データベース6の履歴レコードを作法アプレットの送信および課金を反映するように更新する（ステップS112）。

【0063】

顧客端末3に表示された墓参ページを見て、顧客が焼香アイコンをクリックすると、焼香の作法内容要求がバーチャル墓地サーバ1に通知される。

【0064】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3から焼香の作法内容要求が通知されてくると（ステップS108）、図5に示す焼香内容選択ページを顧客端末3に送信

する（ステップS109）。

【0065】

顧客端末3に表示された焼香内容選択ページを見て、顧客が該当する選択アイコンをクリックすると、選択された焼香内容の選択要求がバーチャル墓地サーバ1に通知される。

【0066】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3から焼香内容の選択要求が通知されてくると（ステップS110）、図9中に示すようなろうそく、線香、お香等のイメージを墓石イメージ上に表示して焼香の一連の動作を模擬する作法アプレットを顧客端末3に送信し（ステップS111）、履歴データベース6の履歴レコードを作法アプレットの送信および課金を反映するように更新する（ステップS112）。

【0067】

顧客端末3に表示された墓参ページを見て、顧客が御供えアイコンをクリックすると、御供えの作法内容要求がバーチャル墓地サーバ1に通知される。

【0068】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3から御供えの作法内容要求が通知されてくると（ステップS108）、図6に示す御供え内容選択ページを顧客端末3に送信する（ステップS109）。

【0069】

顧客端末3に表示された御供え内容選択ページを見て、顧客が該当する選択アイコンをクリックすると、選択された御供え内容の選択要求がバーチャル墓地サーバ1に通知される。

【0070】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3から御供えの内容が通知されてくると（ステップS110）、図9中に示すような御供えのイメージを墓石イメージ上に表示して御供えの一連の動作を模擬する作法アプレットを顧客端末3に送信し（ステップS111）、履歴データベース6の履歴レコードを作法アプレットの送信および課金を反映するように更新する（ステップS112）。

【0071】

顧客端末3に表示された墓参ページを見て、顧客が読経アイコンをクリックすると、読経の作法内容要求がバーチャル墓地サーバ1に通知される。

【0072】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3から読経の作法内容要求が通知されると（ステップS108）、図7に示す読経内容選択ページを顧客端末3に送信する（ステップS109）。

【0073】

顧客端末3に表示された読経内容選択ページを見て、顧客が該当する選択アイコンをクリックすると、選択された読経内容の選択要求がバーチャル墓地サーバ1に通知される。

【0074】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3から読経内容の選択要求が通知されると（ステップS110）、図9中に示すような読経のイメージ（僧侶の後姿）を墓石イメージ上に表示して読経の一連の動作を模擬する作法アプレットを顧客端末3に送信し（ステップS111）、履歴データベース6の履歴レコードを作法アプレットの送信および課金を反映するように更新する（ステップS112）。

【0075】

顧客端末3に表示された墓参ページを見て、顧客が遺影アイコンをクリックすると、遺影の作法内容要求がバーチャル墓地サーバ1に通知される。

【0076】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3から遺影の作法内容要求が通知されると（ステップS108）、図8に示す遺影内容選択ページを顧客端末3に送信する（ステップS109）。

【0077】

顧客端末3に表示された遺影内容選択ページを見て、顧客が該当する選択アイコンをクリックすると、選択された遺影内容の選択要求がバーチャル墓地サーバ1に通知される。



## 【0078】

バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3から遺影内容の選択要求が通知されると（ステップS110）、図9中に示すような故人の遺影イメージ（写真または動画）を表示するウィンドウ（遺影ウィンドウ）を墓石イメージ上に開く、または音声データを再生するような動作を模擬する作法アプレットを顧客端末3に送信し（ステップS111）、履歴データベース6の履歴レコードを作法アプレットの送信（および課金）を反映するように更新する（ステップS112）。

## 【0079】

顧客が実行しようとする1つ以上の作法アイコンをクリックして墓参りのための各種作法の準備が整った後、顧客端末3に表示された墓参ページ（図9参照）を見て、顧客が開始アイコンをクリックすると、顧客端末3上で各種作法アプレットが順次起動され、墓の掃除、焼香、御供え、読経等の各種作法が順次実行される。この間、遺影の内容が動画であれば、遺影ウィンドウでは動画データが再生される。また、遺影の内容が音声であれば、音声データが再生される。そして、起動すべき各種作法アプレットがなくなると、顧客端末3は各種作法アプレットの起動を終了する

## 【0080】

墓参のための各種作法アプレットの実行が終了した後、顧客が顧客端末3に表示された墓参ページ（図9参照）の終了アイコンをクリックすると、代行実施／バーチャル選択ボタンにより選択されたフラグ（代行実施フラグ）を含む終了要求がバーチャル墓地サーバ1に通知される。なお、代行実施フラグは、代行実施が選択された場合にオン、代行実施が選択されなかった場合にオフであるものとする。

## 【0081】

顧客端末3から代行実施フラグを含む終了要求の通知があると（ステップS107）、バーチャル墓地サーバ1は、履歴データベース6の該当レコードを参照して代行実施フラグがオンであるかどうかを判定し（ステップS114）、代行実施フラグがオンであれば、履歴データベース6の該当レコードに基づいて墓参代行実施通知を作成し、この墓参代行実施通知を電子メールで顧客データベース4

の該当レコードのあらかじめ指定された墓参代行業者の電子メールアドレス宛てにインターネット2を介して送信する（ステップS115）。代行実施フラグがオフであれば、ステップS115をスキップする。

【0082】

次に、バーチャル墓地サーバ1は、図2に示すバーチャル墓地ホームページを顧客端末3に送信する（ステップS116）。

【0083】

顧客が顧客端末3に表示されたバーチャル墓地ホームページの「出る」アイコンをクリックすると、顧客端末3からバーチャル墓地サーバ1に出墓地要求が通知される。

【0084】

顧客端末3から出墓地要求の通知があると（ステップS117）、バーチャル墓地サーバ1は、顧客端末3へのサービスを終了する。

【0085】

墓参代行実施通知の電子メールが墓参代行業者端末7で受信されると、墓参代行業者等は、墓参代行実施通知を見て、顧客の实在の墓地の墓に赴き、墓参代行実施通知に記録されたのと同様の墓参の各種作法を代行実施する。この後、必要であれば、墓参の各種作法を代行実施した際の写真、ビデオ等を郵送するなり、電子メールに添付するなりして顧客に送付する。また、課金結果に基づく請求書を顧客の住所に郵送するなり、電子メールで送付するなりする。

【0086】

以上説明したように、第1の実施の形態に係るバーチャル墓参システムによれば、顧客は墓参時に墓地に赴く必要がないので、墓地への往復移動の手間や労力が必要なくなる。特に、墓地が顧客の住居地から遠く離れた場所（たとえば、離島、外国等）にある場合、顧客が出かけることができないような場合（たとえば、入院中、療養中等）などには、墓地への往復の時間、移動費用等が必要なくなるので、遺族の墓参による負担が大幅に軽減される。

【0087】

また、月毎の墓参には少ない作法内容だけを実行し、年一度の法事には多くの作

法内容を実行するというように、顧客の用途に合わせて墓参の各種作法を選択的に実行することができるという効果がある。その理由は、墓参ページから墓参の各種作法内容を容易に選択できるようにしたからである。

【0088】

さらに、墓参ページ上で顧客が墓参代行実施とバーチャル墓参とを選択できるようにしたことにより、命日、盆、彼岸等の重要な日には墓参代行実施を選択し、それほど重要でない日にはバーチャル墓参を選択して、重要度に応じて墓参代行実施とバーチャル墓参とを使い分けることができるという利点が生じる。

【0089】

さらにまた、バーチャル墓地サーバから墓参代行端末に墓参代行実施が電子メールでインターネットを介して通知されるようにしたので、バーチャル墓地サーバの管理者と墓参代行業者等とが同一の者である必要がなくなり、顧客が希望する墓参代行業者等を事前に指定することができるという利点がある。また、バーチャル墓地サーバの管理者にとっては、広い範囲に点在する墓地に自らが赴いて墓参を代行実施する必要がなくなり、墓地が存在する地元の墓参代行業者に墓参代行実施を委託することが可能となる。

【0090】

一方、墓参代行業者等は墓参代行実施通知に基づいて墓参の代行実施を即応的に行うことができ、顧客へのサービス向上を図ることができる。

【0091】

なお、第1の実施の形態では、顧客端末3でのバーチャル墓参の終了に同期して墓参代行実施を墓参代行業者端末7に通知するようにしたが、履歴データベース6を定期的に参照することにより定期的に墓参代行実施を墓参代行業者端末7に通知するようにしてもよい。たとえば、1日の終了時、開始時等に履歴データベース6を参照して当日または前日に更新された履歴データに基づく墓参代行実施を墓参代行業者端末7に一括して通知することができる。

【0092】

ところで、図1においては、バーチャル墓地サーバ1を1つだけ図示したが、インターネット2に接続された複数のバーチャル墓地サーバ1のホームページ上で

互いにリンクを張るようにすれば、容易にバーチャル墓参システムを拡張することが可能である。このようにすれば、全国規模のバーチャル墓参システムあるいは世界規模のバーチャル墓参システムを容易に実現することができ、世界中のどこからでも世界各国のバーチャル墓地への墓参が可能になる。

【0093】

(2) 第2の実施の形態

図19は、本発明の第2の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの構成を示すブロック図である。本実施の形態に係るバーチャル墓参システムは、図1に示した第1の実施の形態に係るバーチャル墓参システムのバーチャル墓地サーバ1に対して、インターネット2に接続された銀行、クレジット会社等の決済機関8と課金の決済を行う決済手段17をさらに付加してバーチャル墓地サーバ1'とした点異なる。また、履歴データベース6を履歴データベース6'とした点異なる。

【0094】

図20は、バーチャル墓地サーバ1'にアクセスしたときに顧客端末3に表示されるバーチャル墓地ホームページの一例を表す画面図である。このバーチャル墓地ホームページには、顧客名を入力するフィールドと、墓石IDを入力するフィールドと、電子マネーの暗証番号等を入力するフィールドと、「入る」アイコンと、「出る」アイコンとが設けられている。なお、入墓地料が課金されることが表示されている。

【0095】

図21を参照すると、履歴データベース6'の履歴レコードには、図17に示した履歴データベース6の履歴レコードに対して、電子マネーの暗証番号等を格納するフィールドが追加されている。

【0096】

図22は、バーチャル墓地サーバ1'の処理を示すフローチャートである。このフローチャートは、図18に示したバーチャル墓地サーバ1の処理を示すフローチャートに対して、終了要求判定ステップS107の後に、課金決済ステップS113を付加した点だけが異なる。

## 【 0 0 9 7 】

なお、その他の部分は、第 1 の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの対応する部分と全く同様に構成されているので、対応する部分には同一符号を付してそれらの詳しい説明を割愛する。

## 【 0 0 9 8 】

このように構成された第 2 の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの動作は、図 9 の墓参ページにおいて顧客が「終了」アイコンをクリックした後に、履歴データベース 6' 中の履歴レコードを参照してバーチャル墓地サーバ 1' と決済機関 8 との間でインターネット 2 を介して課金の電子マネーによる決済が行われる（ステップ S 1 1 3）点だけが異なる。課金の決済に用いられる電子マネーについては、電子証書型電子マネーであっても、残高管理型電子マネーであってもよく、その種類は本発明にとって本質的でないので、その詳しい説明を省略する（電子マネーの詳細については、相澤秀孝編著「電子マネーと特許法」，株式会社弘文堂，平成 1 1 年 4 月 3 0 日発行等を参照）。また、第 2 の実施の形態に係るバーチャル墓参システムでは、決済を電子マネーで行えるようにしたが、クレジット等の他の決済方法を利用することもできる。

## 【 0 0 9 9 】

第 2 の実施の形態に係るバーチャル墓参システムによれば、電子マネーによって即時に決済がなされるので、顧客にとって定期的な支払の手間が省けるとともに、墓参代行業者等にとっても代金回収の手間，リスク等が省けるという利点がある。

## 【 0 1 0 0 】

ところで、第 2 の実施の形態に係るバーチャル墓参システムのように、課金の決済が即時に行われるようにした場合、すでに登録された顧客ばかりでなく、未登録の第三者にも墓参を許容させるようにすることができる。たとえば、遠い親戚，近しい友人等にも、顧客名および墓石 I D を別途通知することによって、随時墓参してもらうことができる。さらには、著名人（たとえば、夏目漱石，芥川龍之介等）の墓がある場合には、バーチャル墓地ホームページ等に特定の顧客名および墓石 I D を掲示することにより、不特定多数の第三者に墓参してもらうこと

が可能になる。さらにいえば、著名人の墓石イメージだけを集めた完全にバーチャルなシステムを構築し、著名人墓探索システムとして利用に供することもできる。

#### 【0101】

##### (3) 第1および第2の実施の形態の変形例

図23は、本発明の第1および2の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの変形例において顧客端末3に表示される墓参ページの一例を示す図である。図3に示した第1および2の実施の形態に係るバーチャル墓参システムにおける墓参ページでは、各種作法アイコンを設けて図4ないし図8の各種作法の作法内容選択ページを顧客端末3に送信させて各種作法の作法内容を選択するようにしていたが、本変形例では、墓参ページに各種作法の作法内容を選択するチェックボタン（以下、各種作法選択ボタンという）、代行実施／バーチャル選択ボタンおよび故人名を入力するフィールドを設け、顧客が必要とする作法内容をチェックし、代行実施／バーチャルの別を選択するとともに故人名を入力した後に開始アイコンをクリックすることにより、バーチャル墓参サーバ1および1'から要求された各種作法アプレットの一括送信を受け、同時にこれら各種作法アプレットの動作が開始されるようにしている。

#### 【0102】

第1および第2の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの変形例の構成では、図24および図26に示すように、バーチャル墓地サーバ1および1'に作法内容選択ページ送信手段13が不要になる。また、バーチャル墓参サーバ1および1'の処理を示すフローチャートは、図25および図27に示すように、ステップS108～S112を、開始要求判定ステップS118，作法アプレット一括送信ステップS119，および履歴レコード一括更新ステップS120に置き換えたものとなる。

#### 【0103】

これら変形例では、顧客が墓参ページにおいて必要とする作法内容をチェックするとともに故人名を入力した後に開始アイコンをクリックすると、顧客端末3から各作法内容，故人名等を含む開始要求がバーチャル墓参サーバ1および1'に送

信される。バーチャル墓参サーバ1および1'は、開始要求を受信すると（ステップS118）、該当する各種作法アプレットを顧客データベース4および作法データベース5から取り出して顧客端末3に一括送信し（ステップS119）、履歴データベース6および6'の履歴レコードを作法アプレットの送信および課金を反映するように一括更新する（ステップS120）。顧客端末3では、各種作法アプレットの一括送信を受けると、これら各種作法アプレットの動作を開始する。

【0104】

#### （4） 第3の実施の形態

図28は、本発明の第3の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの構成を示すブロック図である。本実施の形態に係るバーチャル墓参システムは、図1に示した第1の実施の形態に係るバーチャル墓参システムのバーチャル墓地サーバ1に対してバーチャル墓地サーバプログラム100を備えるようにした点のみが異なっている。

【0105】

このような第3の実施の形態に係るバーチャル墓参システムでは、バーチャル墓地サーバプログラム100がバーチャル墓地サーバ1に読み込まれ、ホームページ送信手段10、顧客確認手段11、墓参ページ送信手段12、作法内容選択ページ送信手段13、作法アプレット送信手段14、履歴データ記録手段15、および墓参代行実施通知手段16として動作する。これら各手段の詳しい動作は、第1の実施の形態に係るバーチャル墓参システムのバーチャル墓地サーバ1における各手段の動作と全く同様になるので、その詳しい説明を割愛する。

【0106】

#### （5） 第4の実施の形態

図29は、本発明の第4の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの構成を示すブロック図である。本実施の形態に係るバーチャル墓参システムは、図19に示した第2の実施の形態に係るバーチャル墓参システムのバーチャル墓地サーバ1'に対してバーチャル墓地サーバプログラム200を備えるようにした点が異なっている。

## 【0107】

このような第4の実施の形態に係るバーチャル墓参システムでは、バーチャル墓地サーバプログラム200がバーチャル墓地サーバ1'に読み込まれ、ホームページ送信手段10、顧客確認手段11、墓参ページ送信手段12、作法内容選択ページ送信手段13、作法アップレット送信手段14、履歴データ記録手段15、墓参代行実施通知手段16および決済手段17として動作する。これら各手段の詳しい動作は、第2の実施の形態に係るバーチャル墓参システムのバーチャル墓地サーバ1'における各手段の動作と全く同様になるので、その詳しい説明を割愛する。

## 【0108】

## (6) 第3および第4の実施の形態の変形例

図30および図31は、本発明の第3および第4の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの変形例の構成をそれぞれ示すブロック図である。これら実施の形態に係るバーチャル墓参システムの変形例は、図24および図26に示した第3および第4の実施の形態に係るバーチャル墓参システムのバーチャル墓地サーバ1および1'に対してバーチャル墓地サーバプログラム100'および200'をそれぞれ備えるようにした点のみが異なっている。

## 【0109】

このような第3および第4の実施の形態に係るバーチャル墓参システムでは、バーチャル墓地サーバプログラム100'および200'がバーチャル墓地サーバ1および1'に読み込まれ、ホームページ送信手段10、顧客確認手段11、墓参ページ送信手段12、作法アップレット送信手段14、履歴データ記録手段15および墓参代行実施通知手段16（ならびに決済手段17）として動作する。これら各手段の詳しい動作は、第3および第4の実施の形態に係るバーチャル墓参システムのバーチャル墓地サーバ1および1'における各手段の動作と全く同様になるので、その詳しい説明を割愛する。

## 【0110】

ところで、上記各実施の形態では、仏教に基づいて設けられた墓地および墓石を前提として説明したが、墓地および墓石がキリスト教、イスラム教等の他の宗教



や、真言宗、浄土宗等の異なる宗派に基づいて設けられたものであっても、本発明を全く同様に適用することができることはいうまでもない。

【0 1 1 1】

【発明の効果】

本発明によれば、顧客は墓参時に墓地に赴く必要がないので、墓地への往復移動の手間や労力が必要なくなるという効果がある。特に、墓地が顧客の住居地から遠く離れた場所にある場合、顧客が現在地から離れることができない場合等には、墓地への往復の時間、移動費用等が必要なくなるので、遺族の墓参による負担が大幅に軽減されるという利点大きい。

【0 1 1 2】

また、月毎の墓参には少ない作法内容だけを実行し、年一度の法事には多くの作法内容を実行するというように、顧客の用途に合わせて墓参の各種作法を選択的に実行することができるという効果がある。その理由は、墓参ページから墓参の各種作法内容を容易に選択できるようにしたからである。

【0 1 1 3】

さらに、墓参ページ上で顧客が墓参代行実施とバーチャル墓参とを選択できるようにしたことにより、命日、盆、彼岸等の重要な日には墓参代行実施を選択し、それほど重要でない日にはバーチャル墓参を選択して、重要度に応じて墓参代行実施とバーチャル墓参とを使い分けることができる効果がある。

【0 1 1 4】

さらにまた、バーチャル墓地サーバから墓参代行業端末に墓参代行実施がインターネットを介して通知されるようにしたので、バーチャル墓地サーバの管理者と墓参代行業者等とが同一の者である必要がなくなり、顧客が希望する墓参代行業者等を事前に指定することができる効果がある。また、バーチャル墓地サーバの管理者にとっては、広い範囲に点在する墓地に自らが赴いて墓参を代行実施する必要がなくなり、墓地が存在する地元の墓参代行業者に墓参代行実施を委託することが可能となる。

【0 1 1 5】

一方、墓参代行業者等は墓参代行実施通知に基づいて墓参の代行実施を即応的に

行うことができ、顧客へのサービス向上を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの全体構成を示すブロック図である。

【図 2】

図 1 中の顧客端末に表示されるバーチャル墓地ホームページの一例を表す画面図である。

【図 3】

図 1 中の顧客端末に表示される墓参ページの一例を表す画面図である。

【図 4】

図 3 の墓参ページにおいて墓掃除アイコンをクリックしたときに顧客端末に表示される墓掃除内容選択ページの一例を表す画面図である。

【図 5】

図 3 の墓参ページにおいて焼香アイコンをクリックしたときに顧客端末に表示される焼香内容選択ページの一例を表す画面図である。

【図 6】

図 3 の墓参ページにおいて御供えアイコンをクリックしたときに顧客端末に表示される御供え内容選択ページの一例を表す画面図である。

【図 7】

図 3 の墓参ページにおいて読経アイコンをクリックしたときに顧客端末に表示される読経内容選択ページの一例を表す画面図である。

【図 8】

図 3 の墓参ページにおいて遺影アイコンをクリックしたときに顧客端末に表示される遺影内容選択ページの一例を表す画面図である。

【図 9】

図 3 の墓参ページにおいて各種作法アイコンで墓参の各種作法を選択した後の墓参ページの一例を示す画面図である。

【図 1 0】

図 1 中の顧客データベースの顧客レコードの内容を例示する図である。

【図 1 1】

図 1 0 中の故人ファイルの内容を例示する図である。

【図 1 2】

図 1 中の作法データベース中の各種作法ファイルを例示する図である。

【図 1 3】

図 1 2 中の墓掃除ファイルに格納されているレコードを例示する図である。

【図 1 4】

図 1 2 中の焼香ファイルに格納されているレコードを例示する図である。

【図 1 5】

図 1 2 中の御供えファイルに格納されているレコードを例示する図である。

【図 1 6】

図 1 2 中の読経ファイルに格納されているレコードを例示する図である。

【図 1 7】

図 1 中の履歴データベースに格納されている履歴レコードの内容を例示する図である。

【図 1 8】

図 1 中のバーチャル墓地サーバの処理を示すフローチャートである。

【図 1 9】

本発明の第 2 の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの全体構成を示すブロック図である。

【図 2 0】

図 1 9 中の顧客端末に表示されるバーチャル墓地ホームページの一例を表す画面図である。

【図 2 1】

図 1 9 中の履歴データベースに格納されている履歴レコードの内容を例示する図である。

【図 2 2】

図 1 9 中のバーチャル墓地サーバの処理を示すフローチャートである。

【図 23】

第1および2の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの変形例において顧客端末に表示される墓参ページの一例を示す図である。

【図 24】

第1の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの変形例の構成を示すブロック図である。

【図 25】

第1の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの変形例におけるバーチャル墓地サーバの処理を示すフローチャートである。

【図 26】

第2の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの変形例の構成を示すブロック図である。

【図 27】

第2の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの変形例におけるバーチャル墓地サーバの処理を示すフローチャートである。

【図 28】

本発明の第3の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの構成を示すブロック図である。

【図 29】

本発明の第4の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの構成を示すブロック図である。

【図 30】

本発明の第3の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの変形例の構成を示すブロック図である。

【図 31】

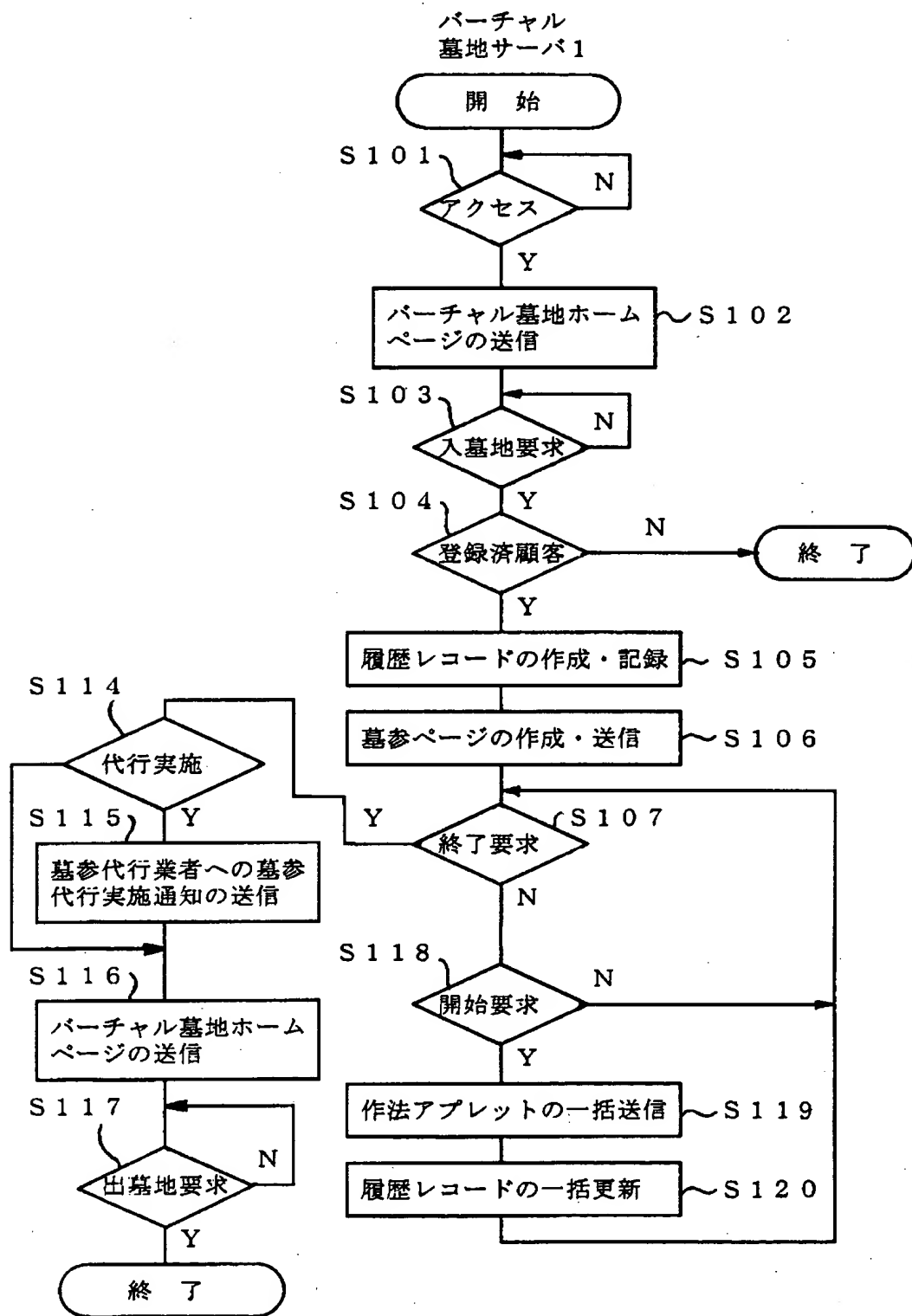
本発明の第4の実施の形態に係るバーチャル墓参システムの変形例の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

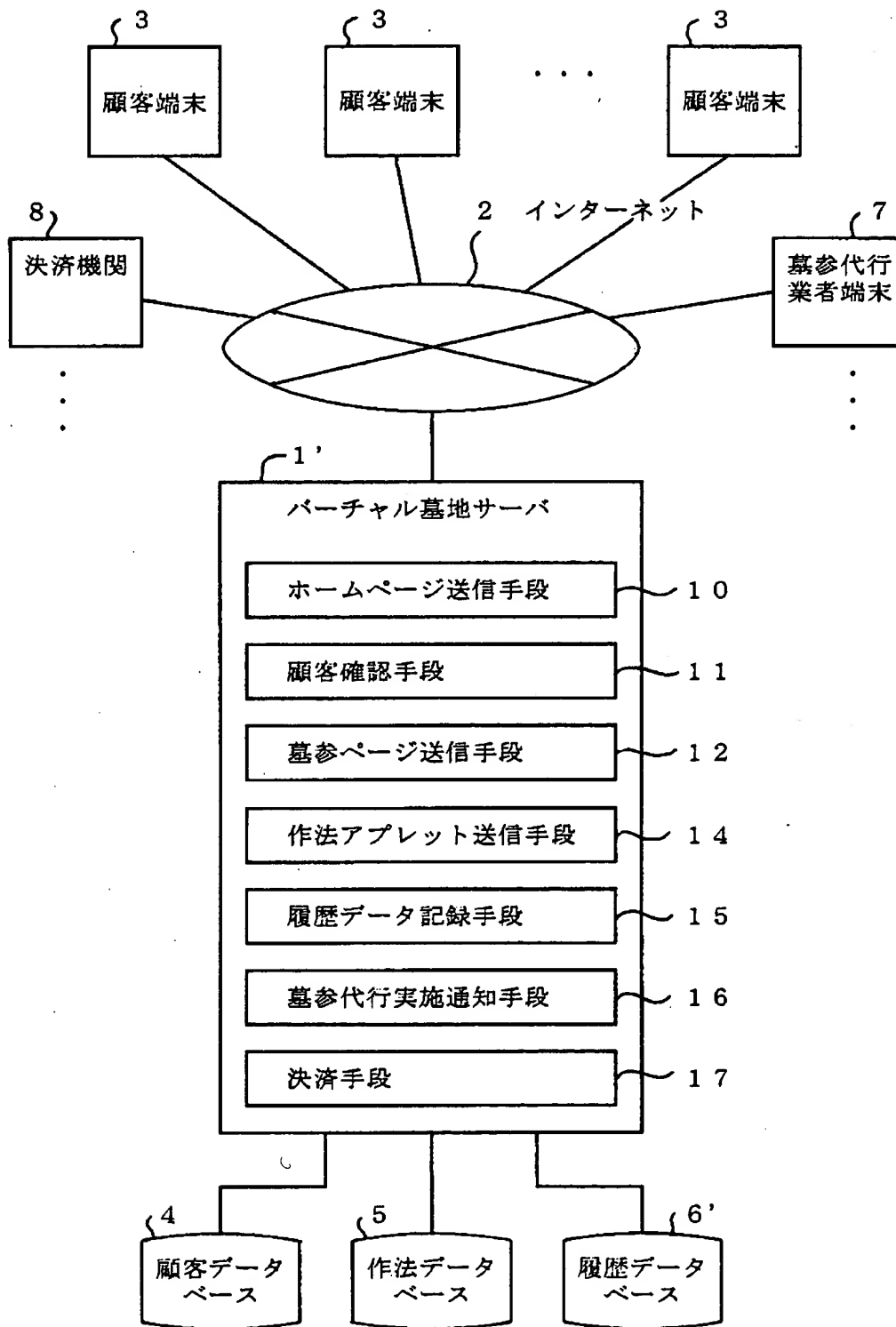
1, 1'    バーチャル墓地サーバ

- 2 インターネット
- 3 顧客端末
- 4 顧客データベース
- 5 作法データベース
- 6 履歴データベース
- 7 墓参代行業者端末
- 8 決済機関
- 10 ホームページ送信手段
- 11 顧客確認手段
- 12 墓参ページ送信手段
- 13 作法内容選択ページ送信手段
- 14 作法アップレット送信手段
- 15 履歴データ記録手段
- 16 墓参代行実施通知手段
- 17 決済手段
- 41 故人ファイル
- 51 墓掃除ファイル
- 52 焼香ファイル
- 53 御供えファイル
- 54 読経ファイル
- 100, 200 記録媒体
- 100', 200' 記録媒体

【図 25】



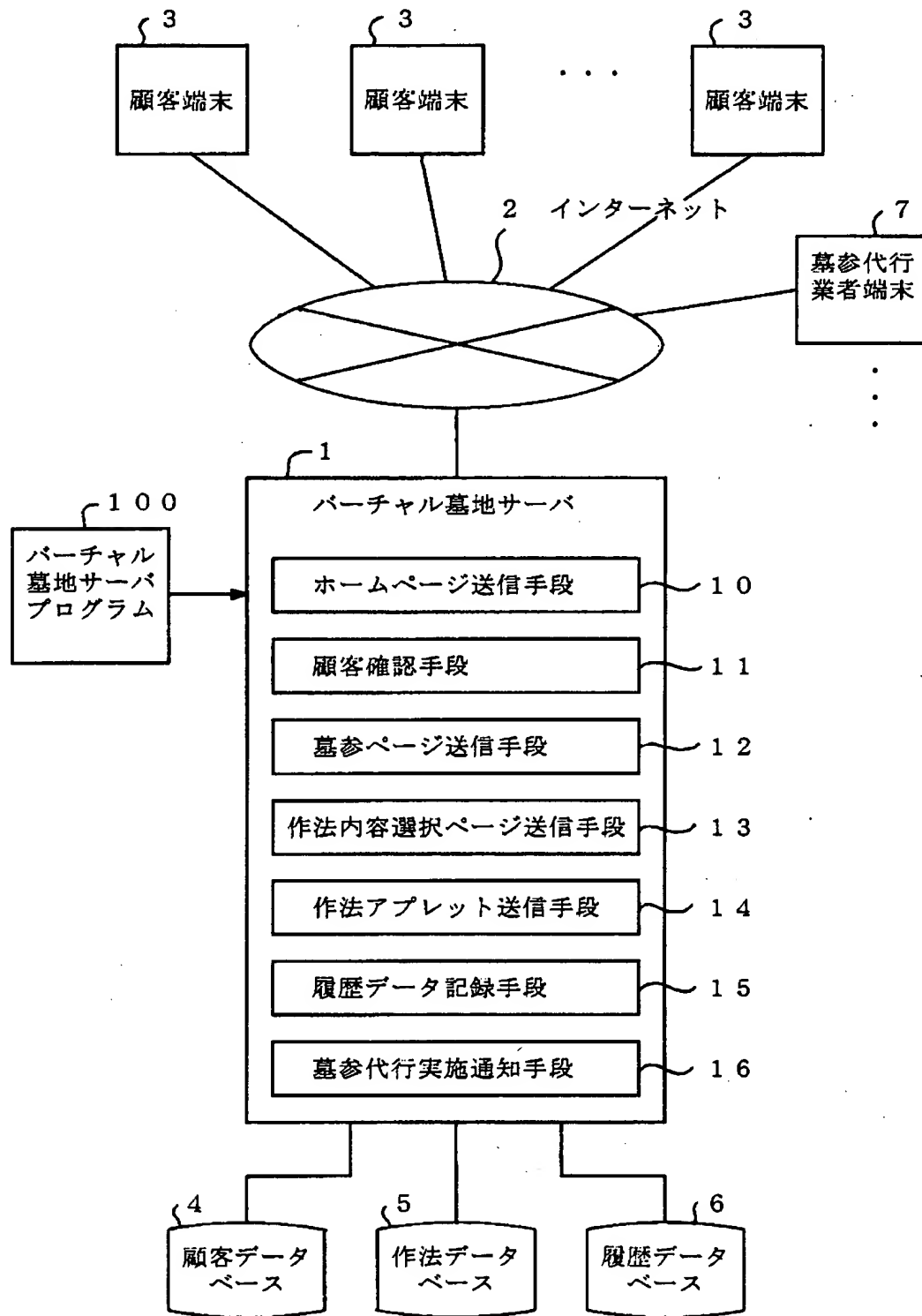
【図 26】



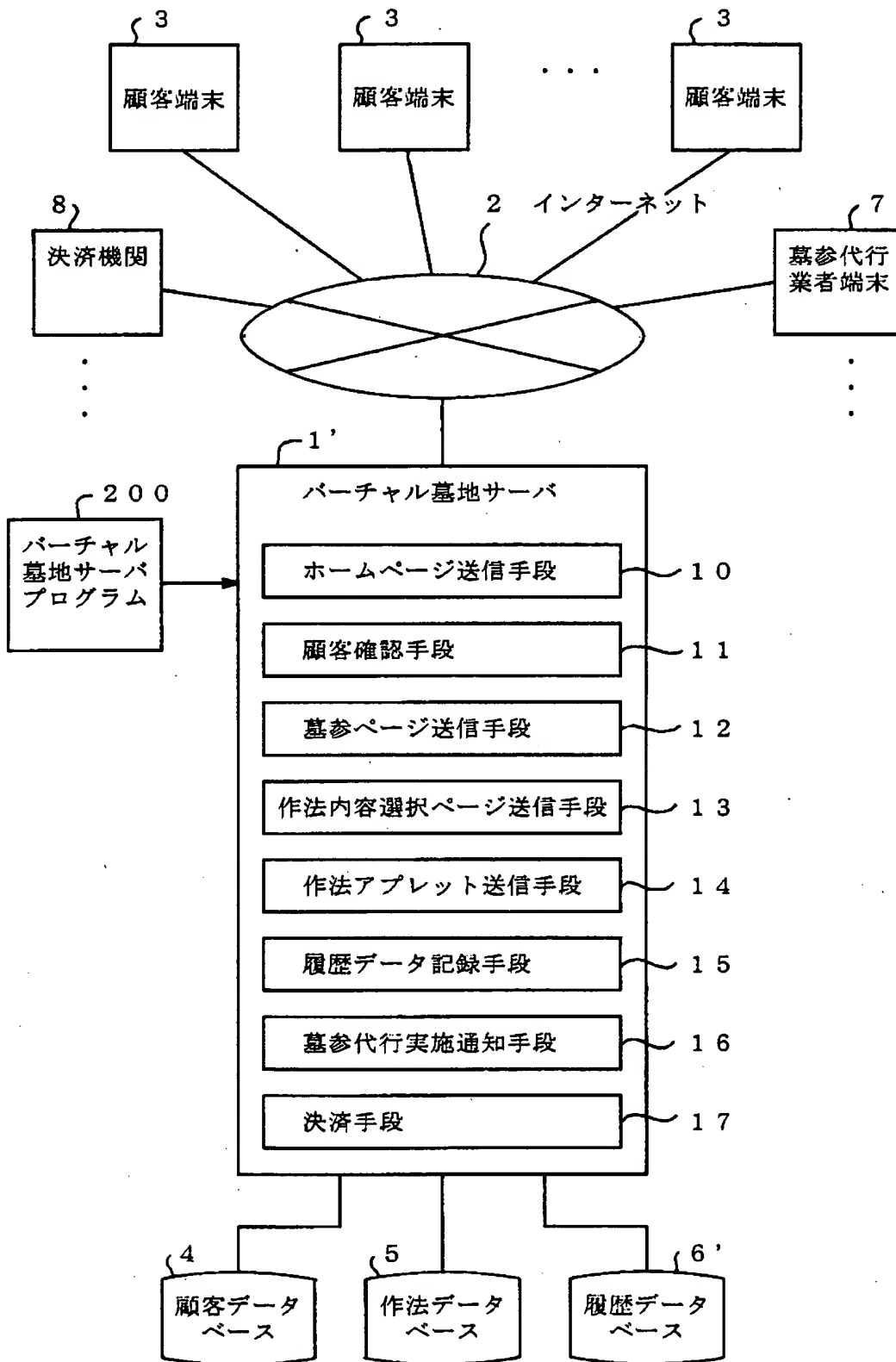




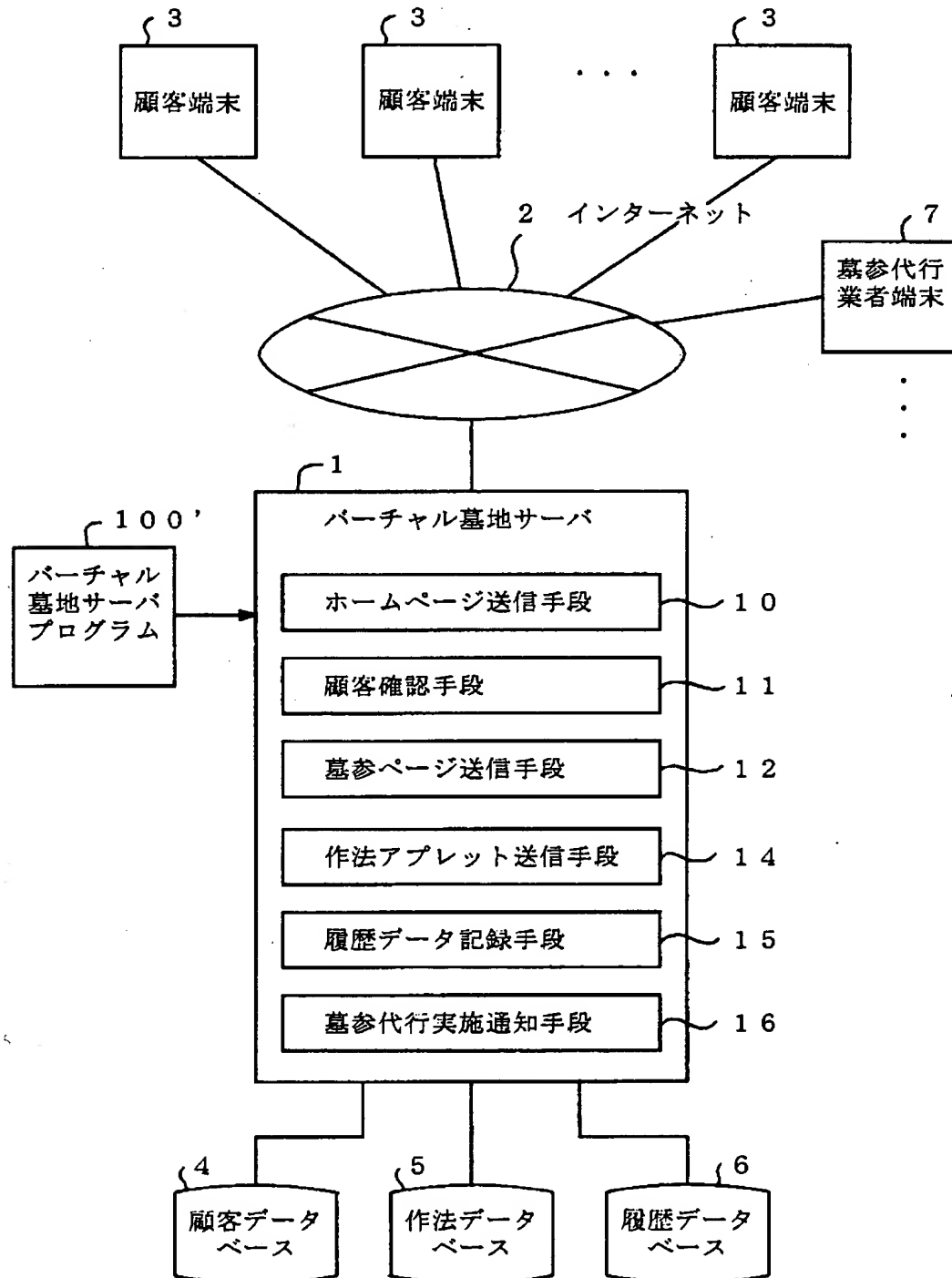
【図 28】



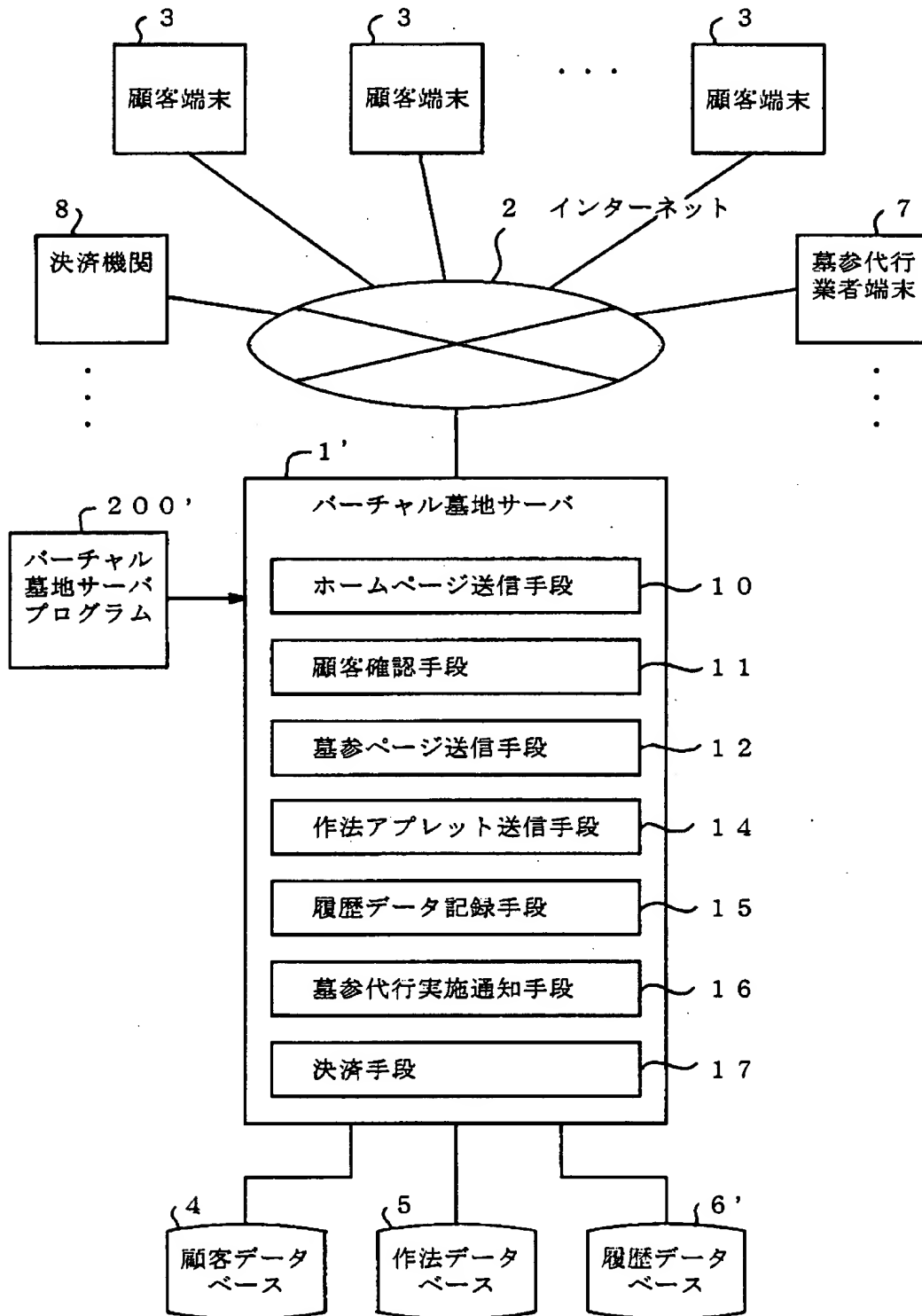
【図 29】



【図30】



【図 31】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 顧客端末からインターネットを介して墓石イメージを蓄積したバーチャル墓地サーバにアクセスすることにより、所望の墓石イメージを表示してバーチャルに墓参できるようにする。

【解決手段】 墓参ページ送信手段 1 2 は、顧客データベース 4 を検索して顧客の墓石イメージおよび作法アイコンを含む墓参ページを顧客端末 3 に送信する。顧客端末 3 に表示された墓参ページにおいて作法アイコンがクリックされると、作法内容選択ページ送信手段 1 3 は、作法データベース 5 を検索して該当する作法内容選択ページを顧客端末 3 に送信する。顧客端末 3 に表示された作法内容選択ページにおいて作法内容が選択されると、作法アプレット送信手段 1 4 は、作法データベース 5 の該当する作法アプレットを顧客端末 3 に送信する。履歴データ記録手段 1 5 は、作法アプレットの送信時に課金結果を含む履歴データを履歴データベース 6 に記録する。墓参代行実施通知手段 1 6 は、代行実施フラグがオンであれば履歴データに基づく墓参代行実施をインターネット 2 を介して墓参代行業者端末 7 に通知する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2001-079744
受付番号	50100395898
書類名	特許願
担当官	濱谷 よし子 1614
作成日	平成13年 3月23日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成13年 3月21日

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [100088890]

1. 変更年月日 1997年 7月 1日

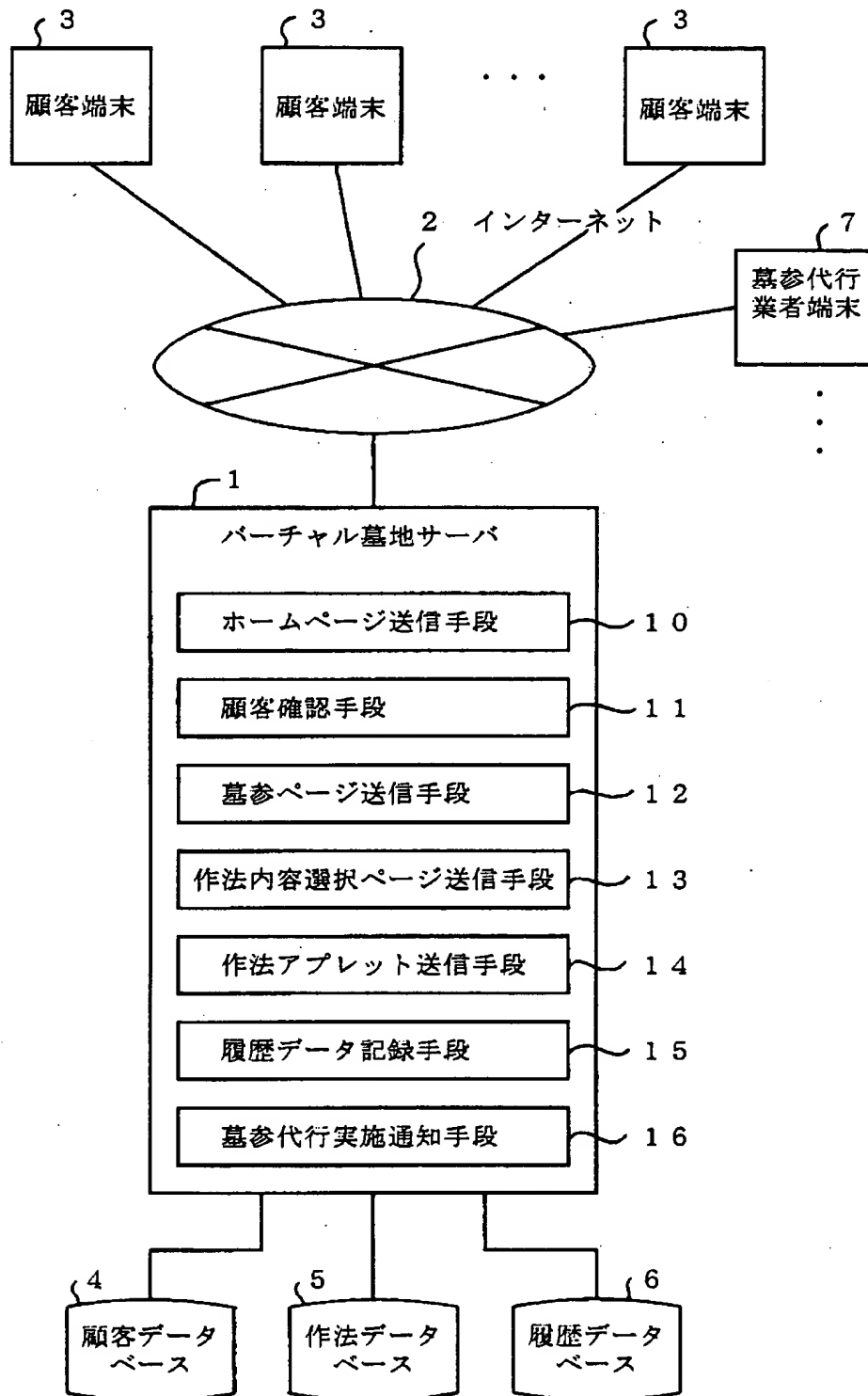
[変更理由] 住所変更

住 所 東京都新宿区西新宿8丁目15番3号 松原ビル804号

氏 名 河原 純一

【書類名】 図面

【図 1】





【図2】

バーチャル墓地

顧客名

墓石ID

入墓地料  
100円

【図3】

田中家の墓

墓掃除  
焼香  
御供え  
読経  
遺影

☐ 代行実施 ☐ バーチャル

【図 4】

墓掃除			
水掃除	代行実施料金 バーチャル料金	300円 10円	<input type="button" value="選択"/>
茶掃除	代行実施料金 バーチャル料金	500円 20円	<input type="button" value="選択"/>
酒掃除	代行実施料金 バーチャル料金	1,000円 30円	<input type="button" value="選択"/>
			<input type="button" value="戻る"/>

【図 5】

焼香			
線香	代行実施料金 バーチャル料金	500円 10円	<input type="button" value="選択"/>
線香・蠟燭	代行実施料金 バーチャル料金	1,000円 20円	<input type="button" value="選択"/>
線香・蠟燭 ・お香	代行実施料金 バーチャル料金	2,000円 30円	<input type="button" value="選択"/>
			<input type="button" value="戻る"/>

【図 6】

御供え			
お花	代行実施料金	1,000円	選択
	パーチャル料金	10円	
お花・果物	代行実施料金	2,000円	選択
	パーチャル料金	20円	
お花・果物 ・菓子	代行実施料金	3,000円	選択
	パーチャル料金	30円	
			戻る

【図 7】

読経			
読経	代行実施料金	5,000円	選択
	パーチャル料金	50円	
読経・法話	代行実施料金	10,000円	選択
	パーチャル料金	100円	
読経・法話 ・法楽	代行実施料金	20,000円	選択
	パーチャル料金	200円	
			戻る

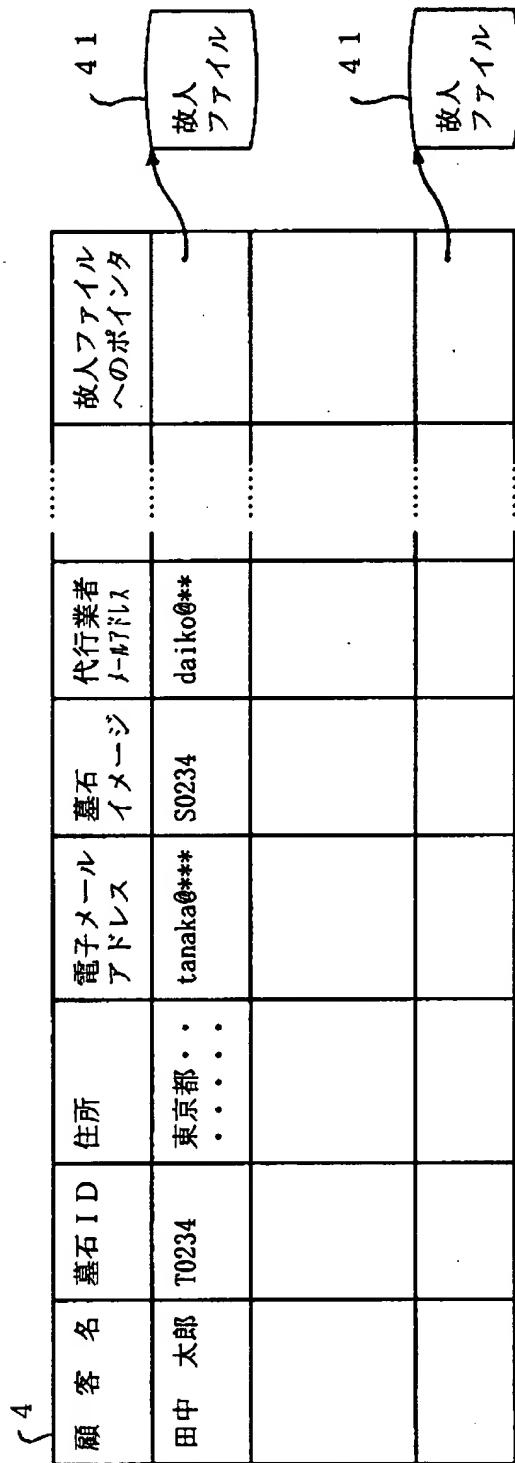
【図8】

遺影				
田中 一郎	写真	動画	音声	他
田中 二郎	写真	動画	音声	他
田中 花子	写真	動画	音声	他
				戻る

【図9】

	墓掃除
	焼香
	御供え
	読経
	遺影
	<input checked="" type="radio"/> 代行実施 <input type="radio"/> パーチャル
開始	終了

【図 1 0】

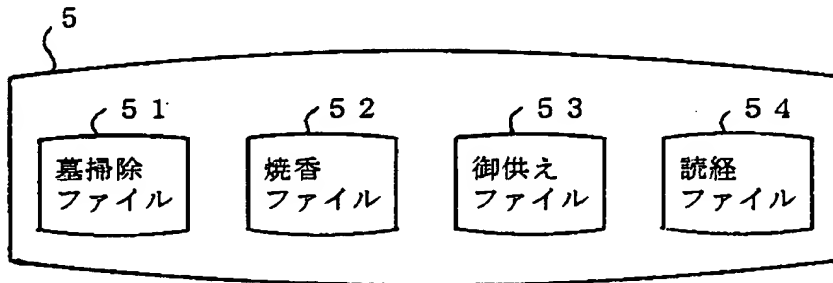


【図11】

41

名前	写真	動画	音声	他
田中 一郎	P t 0 0 0 0 1	V t 0 0 0 0 1	S t 0 0 0 0 1	X t 0 0 0 0 1
田中 二郎	P t 0 0 0 0 2	V t 0 0 0 0 2	S t 0 0 0 0 2	X t 0 0 0 0 2
田中 花子	P t 0 0 0 0 3	V t 0 0 0 0 3	S t 0 0 0 0 3	X t 0 0 0 0 3

【図12】



【図13】

51

内容	代行実施料金	バーチャル料金	作法アプレット
水掃除	300	10	A00000001
茶掃除	500	20	A00000002
酒掃除	1000	30	A00000003

【図 14】

52

内容	代行実施料金	バーチャル料金	作法アプレット
線香	500	10	B00000001
線香・蠟燭	1000	20	B00000002
線香・蠟燭・お香	2000	30	B00000003

【図 15】

53

内容	代行実施料金	バーチャル料金	作法アプレット
お花	1000	10	C00000001
お花・果物	2000	20	C00000002
お花・果物・菓子	3000	30	C00000003

【図 16】

54

内容	代行実施料金	バーチャル料金	作法アプレット
読経	5000	50	D00000001
読経・法話	10000	100	D00000002
読経・法話・法楽	20000	200	D00000003

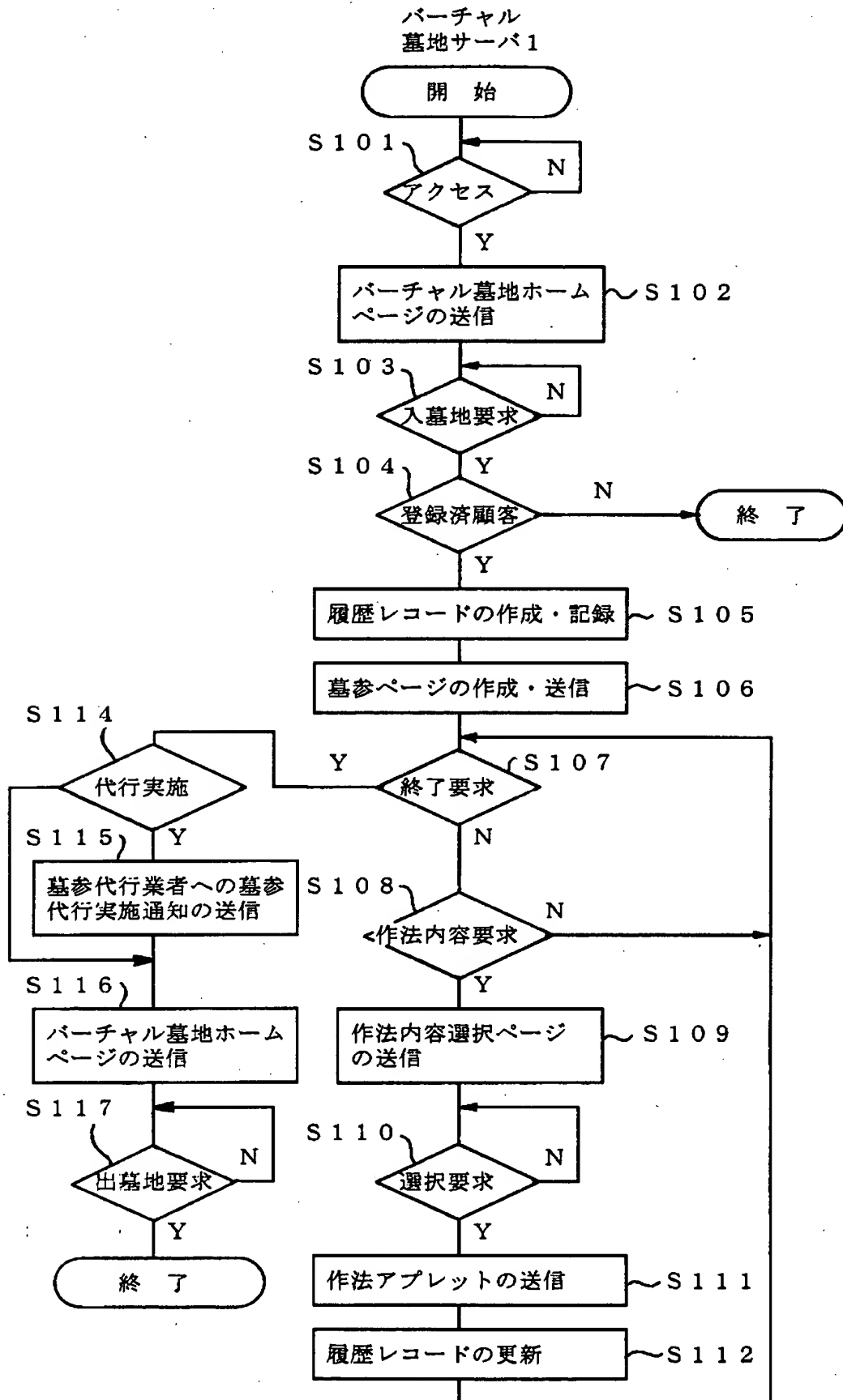
【図17】

6

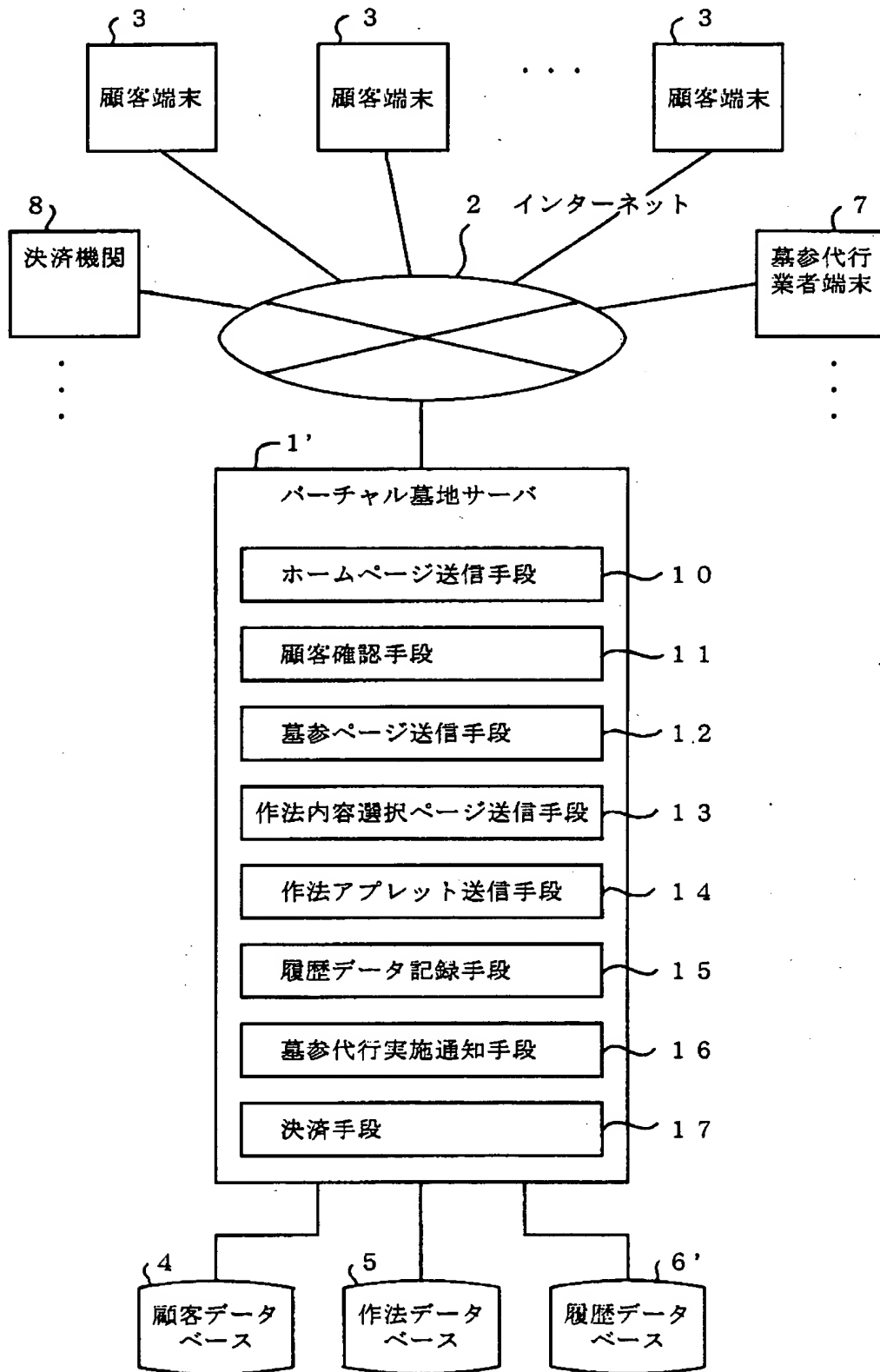
顧客名	墓石ID	年月日	代行 実施	墓掃除	焼香	御供え	遺影	課金合計
田中 太郎	T0234	010310	1	010	001	000	001 010	2100

【図18】





【図19】



【図 20】

バーチャル墓地

顧客名

墓石 I D

電子マネー

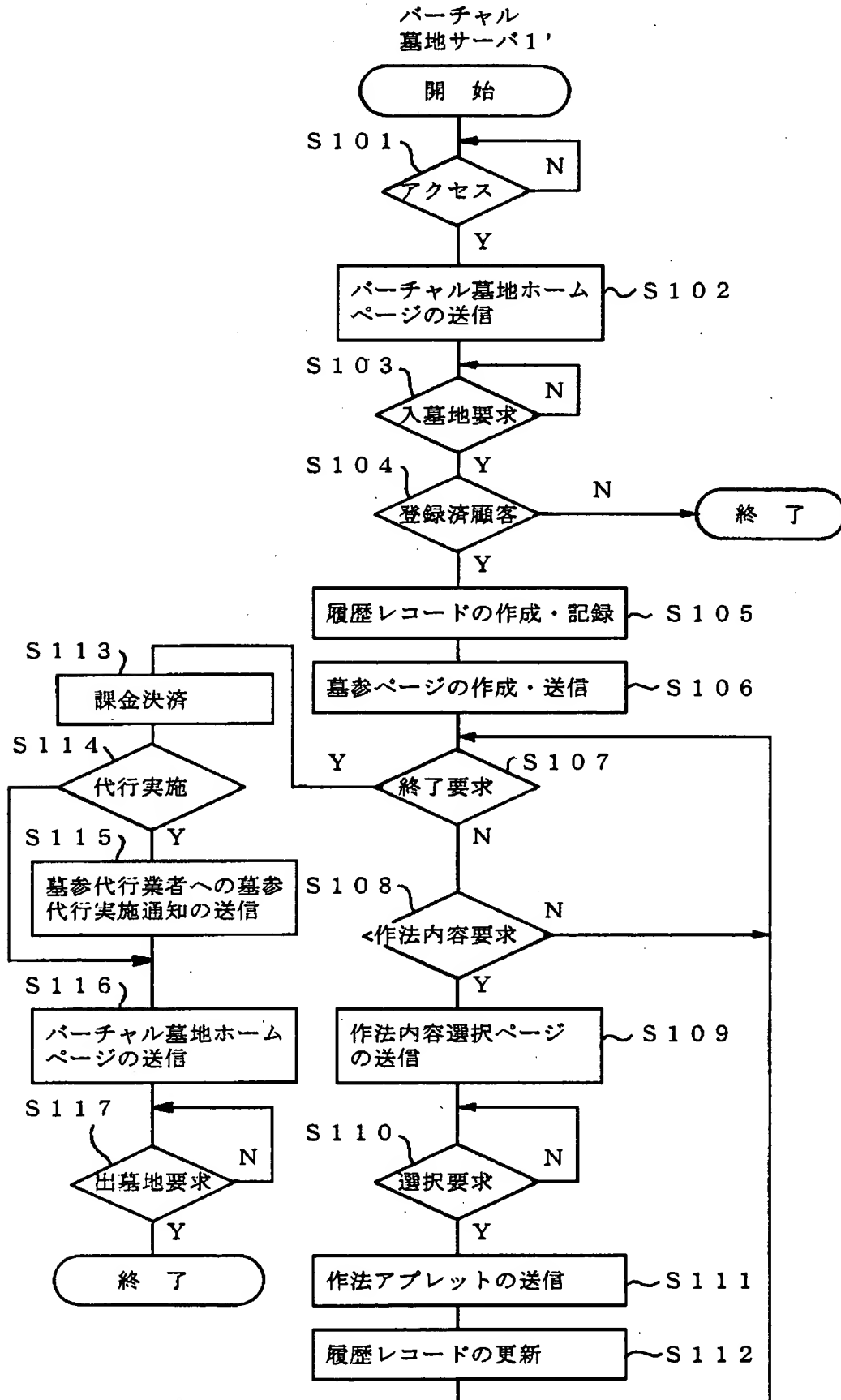
入墓地料  
100円

【図21】

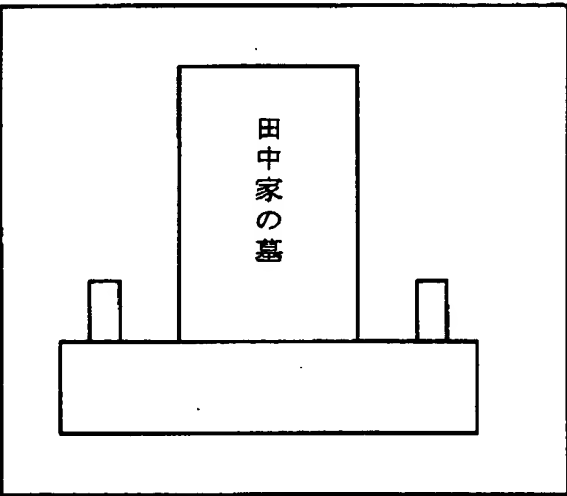
6' {

顧客名	墓石ID	年月日	代行 実施	墓掃除	焼香	御供え	遺影	課金合計	電子マネー
田中 太郎	T0234	010310	1	010	001	000	001 010	2100	*****

【図22】



【図23】

	墓掃除	<input type="radio"/> 水掃除	<input type="radio"/> 茶掃除	<input type="radio"/> 酒掃除	
	焼香	<input type="radio"/> 線香	<input type="radio"/> 蠟燭	<input type="radio"/> お香	
	御供え	<input type="radio"/> お花	<input type="radio"/> 果物	<input type="radio"/> 菓子	
	読経	<input type="radio"/> 読経	<input type="radio"/> 法話	<input type="radio"/> 法楽	
	遺影	<input type="radio"/> 写真	<input type="radio"/> 動画	<input type="radio"/> 音声	<input type="radio"/> 他
		<input type="radio"/> 代行実施	<input type="radio"/> バーチャル		
	故人名	<input type="text"/>			
		<input type="button" value="開始"/>	<input type="button" value="終了"/>		

【図 24】

